

2 予算案のポイント

(1)基本方針

- 持続可能な農業構造への転換に向けて、法人経営体の育成・参入や、農地の基盤整備・集約の加速化などに取り組むとともに、令和8年度に策定する戦略に基づき、農地、人材等の総合的な改革を進めます。
- 地域計画の磨き上げと地域の将来像の明確化に向けて、県による支援チームが地域の課題に応じた伴走型支援を実施します。

(2)重点事項

①持続的な農業を担う法人経営体等の育成・参入促進 ～農地を担い、農業・農村を未来につなぐ～ ＜皆が憧れる経営体の育成と人材の確保＞

- 地域農業をけん引する経営体を育成するため、実践型経営農場を活用した伴走型の就農支援を実施します。
- 農業の担い手としての企業参入を促進するため、農地カルテの作成など受入体制を整備し、県内外へのアプローチを行います。
- 持続可能な経営体を育成するため、経営発展を目指す農業者を掘り起こし、専門家派遣により、円滑な法人化を促進します。

②計画実現のための生産性・収益力の向上 ～食料の総合供給産地としての期待に応え続ける～ ＜稼げる農業の展開と信州農畜産物の持続的な生産＞

- 省力化や生産性向上に向け、アドバイザーチームによる伴走支援等により、農業支援サービス事業体の活用などスマート農業技術の導入を促進します。
- 高温に適応できる農業への転換により農業生産の維持を図るため、温度抑制効果の高い資材等の導入や高温に適応した品種開発、農業者の熱中症対策等を進めます。
- 持続可能な畜産経営の推進のため、経営体の生産性や畜産物の付加価値向上に資する経営基盤の強化・構造転換に向けた取組を支援します。

＜環境にやさしい農業など持続可能な農業の展開＞

- 農業生産活動に由来する環境負荷の低減を図り、ゼロカーボンの実現や持続可能な農業に資するため、地域ぐるみの有機農業の展開、実需者・消費者など関係者の理解醸成を推進します。

＜県産農畜産物の販路開拓・拡大と食の地産地消の推進＞

- 県産農畜産物の輸出拡大を戦略的に進めるため、競争力の高いぶどう、コメ、花きを重点品目として、カナダ・欧州等をターゲットに輸入事業者の招へいや現地での販売促進活動、SNSを活用した産地のPR活動を展開します。
- 地域内での県産農畜産物の利用促進を図るため、県産米の価値・魅力や価格形成の仕組み等を消費者と共有するウェブサイトの開設や、農産物直売所への小型精米機等の導入を支援します。

③ 農地等の基盤整備の加速化 ～稼げる農業の舞台を創る～

＜安全安心で持続可能な農村の基盤づくり＞

- 生産性の向上や、担い手への農地の集積・集約化を図るため、農地の区画拡大や水管理の省力化等の整備を進めるとともに、農業水利施設の適切な保全管理体制を構築する「水土里（みどり）ビジョン」の策定を支援します。
- 地域の合意形成や農地の権利関係に係る調整の円滑化を図るため、ほ場整備事業の構想策定を支援します。
- 頻発化・激甚化する自然災害に対応するため、防災重点農業用ため池の耐震化や排水機場の更新など、県土強靱化を重点的に進めます。